



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番
(公) 043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2000.8.24 No. 5184

国労本部、動労千葉の申し入れを受け取り拒否 「四党合意」反対を明確にし 清算事業団闘争に勝利しよう!

① 無礼である

動労千葉は、八月二日、国労本部に対して「一〇四七名」問題に関する申し入れを行った。

この申し入れは、五月末に国労中央執行委員会が「四党合意」を受け入れる決定を行い、七月一日に臨時大会を開催するとの動きに対して、六月九日に解明の申し入れを行った(動労千葉発第三号)が回答がなかったという経過に踏まえ、さらには、八月二六日に「統開大会」開催が予定されているという情勢のなかで行われた。

布施副委員長と「一〇四七名」の当該でもある高石執行委員が国労本部に出向いて申し入れ(動労千葉発第四号)と、動労千葉が呼びかけ、一二四名と一六九名組が賛同した「一〇四七名の解雇撤回闘争に関する『四党合意』に反対する署名」の署名簿を手交しようとしたことに対して、三役不在のため対応した新井中央執行委員(総務財政部長)は、受け取りを拒否した。

② 動労千葉は清算事業団闘争の

当該組合である

新井中執は「いろいろなところから申し入れがあるが、国労は国労の考え方でやる」「全動労からも何も言っていない」「全動労から何も言っていない」などを受け取らない理由としている。

われわれは、同じ国鉄・JR内に社会的に存在している労働組合が、正式に文書で申し入れられていることに対して受け取った上で「考え方がちがう」というのではなく、「受け取らない」という対応を取ることの本質は何かを考へなければならぬ。

動労千葉は、一〇四七名のうち九名を組織する清算事業団闘争の当該組合である。一〇四七名中九〇〇余名を組織する国労が方針を決めるということによつて、動労千葉や全動労の闘いが決定的影響を受けることは必然である。国労中央は、六月段階でも、動労千葉が「申し入れをしたいので三役に会いたい」という問い合わせを一〇回以上したにもかかわらず、会おうとしない対応を繰り返してきた。

③ 指導部に確信のない

闘いは勝てない

われわれは、六月の申し入れでも明らかにしたように、清算事業団闘争の最大組合である国労が先行解決することにはいささかの疑念もない。

動労千葉の申し入れに対する国労中央の一連の対応が示す最大の問題点は、彼らが、自らの方針に反対する者であると否にかかわらず、そして、組織の内外を問わず、誰に対しても確信をもって正々堂々と対応する構えを失ってしまっていることである。

動労千葉発第4号
いわゆる「1047名問題」に関する申し入れ(その2) 2000年8月21日
日頃の貴組合のご奮闘に敬意を表します。

貴組合が、1047名の採用差別問題について、与党と社民党の「打開案」の受入れを中央執行委員会で決定したとの報道に接し、動労千葉発第3号をもって解明をお願いしましたが回答をいただけませんでした。

今般、貴組合が「統開大会」を開催するとの報に接し、私どもも1047名中9名の不採用組合員を組織する労働組合として、切実に「当該労働者の納得のいく解決」を求める立場から、次の点について、再度解明をお願いすることとしました。

ご多忙中のことは重々承知であり、誠に恐縮ではありますが、よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 与党と社会民主党の「打開案」受入れを決断した経緯と判断について
2. 1047名の解雇撤回をめざす(「解決水準」も含めた)今後の闘いの展望について

以上

④ 「一〇四七名」闘争の不变の本質

国労が「一〇四七名」問題を判断することは重い課題である。

自民党が公明党をパートナーにする以外に政権を維持できなくなり、右翼・石原都知事等が「九・三戒厳令すなわち自衛隊の治安出動・東京の軍事制圧」